



令和七年度 高村光太郎記念館 特別展

中原綾子への手紙

令和7年

4月26日(土)~

令和8年

2月28日(土)

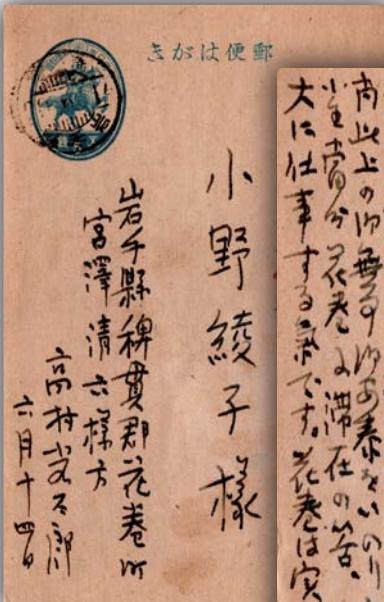
高村光太郎記念館

I期 4月26日~6月30日

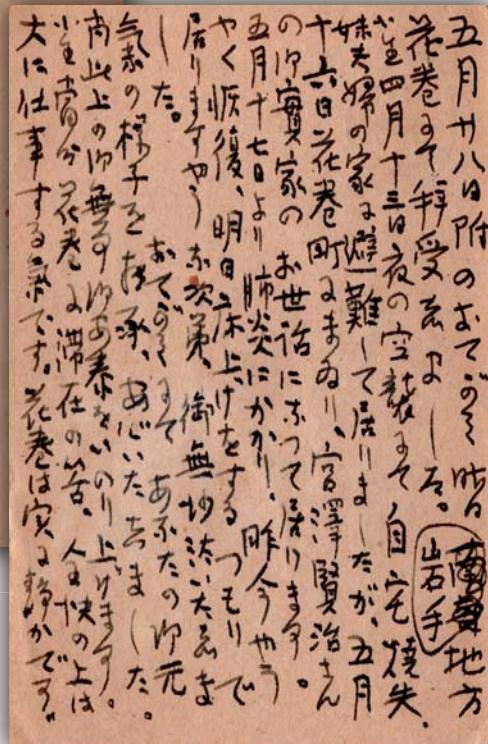
II期 7月1日~9月30日

III期 10月1日~12月27日

IV期 1月4日~2月28日



疎開先の宮澤賢治の生家から差し出された葉書
宮澤清六は賢治の弟



五月二十八日附のおてがみ昨日岩手地方花巻にて拝受しました。小生四月十三日夜の空襲にて自宅焼失、妹夫婦の家に避難して居りましたが、五月十六日花巻町にまいり、宮澤賢治さんの御実家のお世話をなつて居ります。五月十七日より肺炎にかかり、昨今ようやく回復、明日床上げをするつもりで居ります。御無沙汰いたしました。おてがみにてあなたの御元気の様子を拝承、安心いたしました。尚此上の御無事御安泰をいのり上げます。小生当分花巻に滞在の筈、全快の上は大に仕事する氣です。花巻は実に静かです。

(昭和二十年六月十四日 小野(中原)綾子宛)

中原綾子は大正時代から昭和時代にかけて活動した、与謝野晶子門下の歌人です。文芸誌『明星』に作品を発表しており、同誌に作品を寄せていた光太郎と交流を持つようになりました。光太郎が花巻へ疎開した後も手紙のやりとりを通じた交流は続き、昭和26年9月に中原が花巻を訪れ、光太郎を見舞っています。交流は晩年まで続き、光太郎にとって中原は、生涯にわたって交流を持つ間柄であったと言えるでしょう。

この特別展では、昭和4年から26年までの間に光太郎から差し出された手紙を4期に渡って展示し、智恵子抄など作品に通じる光太郎の心境を、中原に宛てた手紙から辿ります。

高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田3-85-1 ☎0198-28-3012
開館 午前8時30分 閉館 午後4時30分 休館日 12月28日～1月3日

高村光太郎記念館 入館料

一般 350円／高校生・学生 250円／小中学生 150円
※団体入場(20名以上)は上記から一人あたり50円割引

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

